

TOPIC 1

2021年8月4日
災害ケアシンポジウムを開催しました。詳細は地域連携災害ケア研究センターホームページ (<https://kait-ccd.jp/>)

TOPIC 2

2021年8月21日・22日
静岡科学館る・く・るにて
「第26回 流れのふしぎ展」を行いました。



TOPIC 3

2021年9月7日
防災・災害ケア基礎講座(公開講座)を開催しました。詳細は地域連携災害ケア研究センターホームページ (<https://kait-ccd.jp/>)

TOPIC 4

2021年9月7日
第67回全国視覚障害青年大会の神奈川大会のIT技術支援ボランティアを創造工学部ロボット・エレクトロニクス科の三枝准教授と三枝研究室の学生が行いました。この大会は、全国の視覚障害青年ならびに関係者96名が参集し、大会史上初のオンライン会議となりました。



TOPIC 5

2021年9月～2022年3月
令和3年度厚木市高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業のフレイル予防教室「今から始める健康への道」を神奈川工科大学健康福祉支援開発センターが受託しました。

TOPIC 6

2021年9月29日
株式会社さがみはら産業創造センターと神奈川工科大学は、産学連携による中小企業支援等に関する協定の調印式を行いました。

TOPIC 7

2021年10月16日・17日
創造工学部ホームエレクトロニクス開発学科の金井教授による静岡県裾野市主催の子ども体験教室「プログラムでロボットを動かそう!」(10月16日)、神奈川工科大学主催「ロボットプログラムスペシャル講座」(10月17日)が開催されました。

TOPIC 8

2021年11月1日
「広報あつぎ11月1日号」に神奈川工科大学の地域貢献が記載されました。
<https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/material/files/group/3/202111010607.pdf>

TOPIC 9

2021年10月18日・21日
情報メディア学科上田研究室が厚木市防災行政放送の実態調査を実施しました。

TOPIC 10

2021年11月30日
自然災害の局地化、強大化に備え、地域の産学官民が包括的かつ中長期的な防災時に有効な避難場所の準備・対応及び被災者ケアを行うための体制づくりのための意見交換会を開催しました。



お知らせ

「気楽に学べる市民公開講座」

～市民の皆さんの知的好奇心を高め、お役立ち情報をお届けするわかりやすい講座～

SDGs関連を中心にさまざまな分野から
ショートレクチャーをお届けします。

- ・開催 3月1日～3月27日(オンデマンドで視聴)
- ・対象 社会人(学生も可)
- ・受講 無料、20テーマの講座を自由選択
- ・申込 URLまたはQRコードで事前申込
詳細は、1月初旬に発表します。

・問い合わせは、地域連携・貢献センターまで

地域連携・貢献センター

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
TEL.046-291-3153 FAX.046-291-3262
E-mail: chiiki-koken@ccml.kanagawa-it.ac.jp

神奈川工科大学

地域連携・貢献センター
〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
TEL.046-291-3153 FAX.046-291-3262
E-mail: chiiki-koken@ccml.kanagawa-it.ac.jp
URL: <https://cp.kanagawa-it.ac.jp/cc/>
「kait」で検索するとHPにアクセスできます。 [kait] [検索]

編集: 地元厚木市内のデザイン会社:(株)コンパス 厚木市小野603-1



CENTER for
REGIONAL COOPERATION
and CONTRIBUTION

地域連携・貢献センター

2021年12月
Vol.5

ご挨拶

この夏、「コロナ禍における災害対策～要配慮者に対するケアを中心に～」と題してシンポジウムを行いました。そこでは、重度の障害や疾患のある方の参加をいただき災害時の課題を行政や関係機関の方と共に議論しました。また、「防災・災害ケア基礎講座」では本学教員による講義と共に、基調講演を熊本地震の際に避難所として尽力された熊本学園大学に行ってくださいました。いずれも、オンラインによる視聴でしたが、多くの方のご意見・ご質問が寄せられ、その後に連携した取り組みも始まっており、とても有意義なものとなりました。来年度もさらに力を入れて実施していきたいと思っております。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

地域連携・貢献センター長 小川 喜道

Page

- ご挨拶 1
- インタビュー 1～3
- Topic 4
- お知らせ 4
- 編集後記 4

インタビュー

聴き手

小川地域連携・貢献センター長

受け手

KAIT SDGs HUBメンバー
(14名参加)
小室 貴紀 教授

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsって、学生の皆さんはどうみている？

最近、SDGsとかサステナブルとか、良く耳にするけれど、四角形が並んだポスターも目にするけれど・・・はつきり言って、どう捉えているのでしょうか？

そこで、SDGsの活動推進を目的とした学生組織KAIT SDGs HUB (<https://kait-sdgs-hub.jp/>)に小川地域連携・貢献センター長がインタビューをしました。

活動のきっかけ

小川

なぜ？ どうして？ SDGsHUBに参加の動機を教えてください

SDGs HUBメンバー

- ・(2年:機械工学科)なんとなく、なりゆきでした。
- ・(大学院 1年:電気電子工学専攻)リーダーを務めています。すっごく興味があったわけではないけれど、みんなを巻き込んで、SDGsを広めていくというこの活動の内容を聞いて、是非参加したいと思いました。みんなに広めていきたい。巻き込んでいきたい。
- ・(4年:電気電子情報工学科)SDGsの存在は知っていましたが、就職活動の企業説明会で必ず話題になることに気が付きました。そんな時に、このSDGs HUBが活動開始すると聞いたので、「ぜひ参加させてください」と小室先生にお願いしました。
- ・(3年:情報メディア学科)SDGs HUBのリーダーと同じ部活なんですけど、「SDGs HUBを今度、立ち上げるから」と誘われました。面白そうと思い、SDGsは正直、そんなにわからなかったのですが、知る機会になればいいなと思い参加しました。また、写真部なので記録係としての役割も担いつつ、活動にも参加できれば、写真も活かせるなと思いました。(今回の写真も担当)
- ・(1年:情報ネットワーク学科)注目されているSDGsって、どんなものか知りたかったと思って参加しました。
- ・(1年:情報ネットワーク学科)SDGsはあまり知らなかったのですが、小室先生に「情報と関係するよ」と誘われました。これから情報の勉強を進めていく上で、必要になるかもしれないと思い参加しました。
- ・(1年:応用バイオ化学科)人脈を広げるための主目的です。出身が沖縄で、神奈川工科大学には、友達も知り合いも誰もいない環境です。しかも、この1年近くをコロナ禍の中で過ごし、自分から動かないと知り合いも作れないし、人とのコミュニケーションも取れないし、人との付き合いって、世の中で大切だと思って・・・自分の所属学科以外の人と知り合えるのも貴重だと思い参加しました。
- ・(1年:応用バイオ科学科)社会人を経て、今年入学しました。太陽光、エネルギーのことを学びたくて入学したのでSDGsについて学びたいのと、今までは自分のことばかり考えていたので、これからは、世のため、人のためになることも考えていきたいと思い参加しました。



編集後記

はじめまして、4月から地域連携・貢献センターに異動してまいりました関口です。

2021年丑年、コロナ禍での師走を向かえ、皆様におかれましてはどのような一年でありましたでしょうか。最近、暑さ寒さの季節の移り変わりが急激になり、気候変動の影響が身近に迫ってきたかと感じるこのごろです。10月末には、英国でCOP26(国連気候変動枠組条約第26回締約国会議)が開催され世界の気候変動問題が議論されました。ここでは、石炭の使用をめぐる最後まで交渉を重ねた末、成果文書「グラスゴー気候協定」が採択され、CO2削減に向けて一歩一歩進むことが確認されています。一方、新型コロナウイルスへの対策など、我々が生活する上で、大きな課題が山積みとなっています。環境問題においては、KAIT SDGs HUBの皆さんの活躍にも期待したいと思います。

さて、今回は地域貢献活動に、4年間携わってくれた学生さんを紹介します。渡部雄太(わたべゆうた)さん、ホームエレクトロニクス開発科4年生(三栖研究室)、学生会執行部に所属し、学生課からの推薦で厚木市の地方創成推進プロジェクト、あつぎにぎわいアドベンチャー隊へ参加、市内5大学の学生のみなさんと共に活動をされています。主な活動を以下に紹介します。

地方創成推進プロジェクトの主な活動:厚木市公式ハッシュタグ #niceatsugi、そのロゴ、写真展、フォトブック、まちのコイン「アユモ」の企画制作など。

あつぎにぎわいアドベンチャー隊の主な活動:2019年度は隊長を務める、アツギハロウィン(衣装制作、缶バッチ作り、パレード)、クリスマスなどのイベントの企画運営。

今は、コミュニティ通貨まちのコイン「アユモ」の普及に向けて活動を行っています。

この事業は、神奈川県SDGs、つながりポイント事業と厚木市が共同して実施しています。

みなさんも、ぜひ気にかけてみてください。その他、高大連携プログラム、モノづくり体験教室、神奈川県が主催するサイエンスフェアなどにも、三栖教授と共に協力いただきました。とにかく感謝の限りです。

それでは、2022年寅年は皆様にとって良い年になりますようご祈念申し上げます。



セキグチ

SDGs HUB
メンバー

- ・(1年：応用化学科) そもそも、SDGsに興味がありました。キャリア設計の授業でこの活動を知ったので、自分からメールで参加を依頼しました。
- ・(1年：応用化学科) 高校時代に地球環境科学を学び、大学でも地球環境について学びたいと考えていました。そこで CO2 関係の授業を履修していたところ、SDGsの活動組織を結成すると聞いたので、参加の意思表示をして、今、ここにいます。
- ・(3年：電気電子工学科) 小室先生に声をかけていただきました。参加するかどうかわ迷ったのですが、1~2年生の時の授業で SDGsという単語をよく聞いて面白そうだと思っていました。自分にできることがあるかなとも思い参加することにしました。
- ・(1年：情報メディア学科) もともとSDGsとその目標を知っていました。規模が大きすぎて自分ではできないかなと思っていました。キャリア設計の授業を聞いて、自分個人でもできるかもしれないという思いから参加しました。
- ・(1年：情報メディア学科) 地元が横須賀市です。その横須賀市で最近、火力発電所の建設が進められています。地球温暖化のことや環境破壊のことで火力発電自体がよくないとされているのに、なぜ火力発電所を建設するのだろうという疑問を解消したいので参加しました。

小川

これまでのSDGs HUBの活動について 活動をしてきて、どんなことを感じたのか聞かせてください。

コロナ禍の制限がある中で、今まで思うような活動ができないといった側面がありました。ですから、今日、初めて実際に顔合わせしたメンバーもいます。ですが、ワークショップや zoom での活動には全員が参加しています。

小室

SDGs HUB
メンバー

- ・(リーダー) これまでの活動は全部参加しています。最近で印象深いのがあつぎ市民発電所の収穫祭と広域水道企業団のミーティングです。広域水道企業団は熱くて、情熱を感じました。水道を通しての SDGs って、水だけと思っていたのが、エネルギー分野でも貢献できると情熱を燃やしている様子がすごいなあと思いました。県民への安全な水の提供だけでなくエネルギーの提供もできるし、いろいろなことに関与して、研究や試行を行っていることを知りました。また、他のワークショップで教えてもらった「17 の SDGs の目標 1 つに関与することは他の目標にも関与していることになる」という言葉がよく理解できました。
- ・あつぎ市民発電所の収穫祭に行き、写真を撮りました。畑の上にソーラーパネルを置いて、太陽光発電もして、農作物も作って・・・新しい在り方だと感じられました。

小川

一緒にの空間で共存しているんだね。

SDGs HUB
メンバー

- ・ソーラーパネルによって日差しがさえぎられる条件での農業の実践は前例がないからやっているそうです。他の農家にデータを提供したいって言っていました。

小川

あつぎ市民発電所の収穫祭で感じたことを披露してください。

SDGs HUB
メンバー

- ・微生物の基礎は土なので久しぶりに土に触って清々しかった。
- ・芋ほりが楽しかった。
- ・美味しかった。
- ・意外と日陰があるのに成長していた。場所によって成長差が見られたのが興味深かった。

小川

JICA との zoom ミーティングはどんな印象でしたか・・・

SDGs HUB
メンバー

- ・画像では都市化の進んだ発展が表示されていましたが、見えている部分だけではないことが分かりました。
- ・旅行が好きで、アフリカも行ったことがあるのですが、アフリカは現地に行くと JICA の人によく会いました。水、井戸、海外事情等は実際に行かないとわからないと思いました。

小川

表面的な部分だけではなく、内在している課題を気付くことが難しい。

SDGs HUB
メンバー

- ・格差問題などいろいろな課題が出てくると感じました。
- ・印象に残ったことは、いきなりSDGsの取り組みが始まったのだと自分の中でとらえていたのですが、いきなり世界中で世界を良くしていこうと始まったわけではなく、SDGs の前に MDGs(ミレニアム開発目標) の活動があったということを知りました。

小川

開発途上国のためだけでなく、先進国といわれている国々の課題も解決していかなければならないことに気付いて MDGsからSDGsの活動にシフトされたんですね。

小川

ワークショップ (SDGsカードゲーム) にも参加したそうですが、そこで発見したことはどんなことですか・・・

SDGs HUB
メンバー

- ・自分の目標カードが渡され、目標を達成することが求められます。勝手にプロジェクトを推進すると環境が壊れてしまいます。このことが今までの地球を現していると思われ、産業革命とかで環境を壊してきたのかなと思いました。環境に目を向けることや自分の内側を見ていかないといけないことに気付きました。カードゲームを通じて、こうしたことを広めていくことは大切なことだと思いました。



SDGs HUB
メンバー

- ・自分の目標カードが渡され、目標を達成することが求められます。勝手にプロジェクトを推進すると環境が壊れてしまいます。このことが今までの地球を現していると思われ、産業革命とかで環境を壊してきたのかなと思いました。環境に目を向けることや自分の内側を見ていかないといけないことに気付きました。カードゲームを通じて、こうしたことを広めていくことは大切なことだと思いました。

小川

カードゲームは結構、学びがあるんですね。

SDGs HUB
メンバー

- ・自分たちが目標を達成したら成功なのですが、他者より先行することに拘ると周りを見ることができなくなってしまう。周りを見て協力することや社会、経済、時間、環境のバランスをとることが重要だと理解できました。SDGsは一人ではできないし、手助けすることが大切だと再確認することができました。

小室

いい手法だよなあ・・・

SDGs HUB
メンバー

- ・自分の参加したワークショップは二人チームで目標達成をしたのですが、経済・社会が上手く回ると環境のバランスが崩れ、自分のことばかりに目を向けることを世界規模で考えると大変なことになると思いました。
- ・ワークショップのカードゲーム上で、経済目標は達成できましたが、時間だけが足りませんでした。これを現実社会で考えてみると時間を大切にすること、経済や環境問題と時間を両立させることが大切だと理解できました。このことは、今、必要なことは何か、一つのことには拘ってはいけなしい視野を広げることが求められていると示していると学びました。

小川

自分の生活の中でのSDGs

短い期間だったと思いますが SDGs SUBで学んだことや気付いたことと自分の生活と結びつけて考えていることがあれば教えてください。

SDGs HUB
メンバー

- ・自宅電気の省エネ。部屋のエアコンの温度設定を変えて省エネをしています。
- ・自宅サーバーの省エネ。すでに、650 ワットを 60 ワットに変えました。電気料金は 2,000 ~ 3,000 円安くなりました。自分のやっていることが SDGs に結び付きました。
- ・一人だけで参加したワークショップの謎解き SDGs は難しかったです。グループの人と話し合わないと謎が解けませんでした。

小川

SDGsって、知識を詰め込むだけではなく、ワークショップで気付くことを広めていくといいですね。

SDGs HUB
メンバー

これからSDGs HUBとして、どんなことをやってみたいですか・・・

- ・エネルギーに興味があるので、海外のことと組み合わせて考えていきたい。
- ・いろいろな業種で SDGs のことを聞くので、どんなふうにつながっているのかを知りたい。
- ・今まで、SDGsってこんなことだとうことに注目してきましたが、これからは、すでに SDGs の効果が上がっていることを知りたい。
- ・今まではコロナ禍の制限により、zoom ばかりだったので、実際に企業を訪問して、空気を感じたい。また、KAIT SDGs HUBとして私たちの SDGs のバトン (自分たちが行動して変化していく) を次世代につなげていきたい。
- ・リサイクル関係に興味があります。また、幅広く企業見学をしたいです。
- ・イベントに参加するだけでなく自分たちでやってみたい。お祭りをしたい。
- ・コロナ禍の制限の中で、学生と教職員が触れ合う機会が少なかったため、大学の先生たちと気軽に話しあったり、活動できたりするいいなと思います。
- ・SDGsって面白そう、社会に貢献できると、なおいといます。
- ・ワークショップに参加しただけなので、SDGs のイメージだけで、知識はありませんが、自分で思っていた海の課題をとって見ても、一つのことだけではだめだということに気づけて良かったです。これから、やりたいことは消費電力削減です。こんなことから SDGs ということを広めていきたい。
- ・SDGs HUB では私たちの SDGs として自分たちが楽しみながら続けたい。実践が楽しいのであれば継続できます。どうやったら楽しめるのかを含めて、オリジナリティのある活動を楽しんでやってきたい。

小川

みなさんのお話から、SDGs HUBの活動を通して、1つの課題は他の分野と複合的に関係しているので、広い視野で取り組む必要があると感じているようです。活動は始動したばかりだと思いますが、これから、ますます活発な動きに発展する予感があります。そして、みなさんの感じたことを SNS を通じて広く発信していくことを期待しています。今、大学では防災や災害ケア対策を進めています。なんととっても、学生の視点やアイデアは貴重です。神奈川工科大学の防災時の初動マニュアルのバージョンアップに向けて、学生の視点・アイデアを活かしていきたいので、みなさんの力が不可欠です。ぜひ、SDGs HUBの協力をお願いしたい。

小室

SDGs HUB に集まっている学生にもさまざまな背景があり、SDGs に対する感じ方も多彩であることを、本日改めて認識しました。今後、学内外の人々、組織と交流することにより、より一層広範囲な活動ができるでしょう。お楽しみはこれからです。

SDGs HUBのメンバーには授業が終了後に地域連携・貢献センターにお集まりいただきました。初冬の夕暮れは、メンバーたちと小室先生、そして小川センター長の熱い想いにあふれたひと時でした。インタビューの中で話されていた防災対策・災害ケアの産学官民の意見交換会は後日開催され、参加いただきました。(要約記録：今井)



SDGsワークショップ



解説：カードゲームは SDGs の目標を1つ1つ細かく勉強するためのものではありません。「なぜ SDGs が私たちの世界に必要なのか」、そして「それがあってによってどんな変化や可能性があるのか」を体験的に理解するためのゲームです。